2021年9月9日制定

Beyond SDGsイノベーション学会

**投稿論文執筆者および査読者のチェックリスト**

【投稿論文執筆者】論文執筆前および投稿前の最終確認時，必ず以下のチェック項目をお読み頂き，各項目に適合しているかをご確認下さい．未確認の項目や不適合の項目がある場合，投稿された論文は返却されますので，ご了承願います．査読用原稿を作成するフォーマットは「投稿論文等の規程」の通りですが，配慮の行き届いた原稿を準備して送付することは，査読において信頼を得ることができ，また結果的にも格段に品質の高い論文になります．原稿を送付する前に，本チェックリストをご参考の上，よく準備かつ推敲された原稿をお寄せ願います．

【査読者】査読をする際，必ず以下のチェック項目をお読み頂き，各項目に適合しているかをご確認下さい．未確認の項目や不適合の項目がある場合，投稿された論文を返却する事由になりますので，ご承知願います．合わせまして，「投稿論文等の規程」をご確認頂きますようお願い致します．

□ 「投稿論文等の規程」を読んだ．(基本)

□ 筆頭著者は本会会員であり，共著者全員が原稿に目を通した．(基本)

□ 著者の総数は5名以内であり，著者が6名以上の場合には，別紙「理由書」が添付されている．(基本)

□ 原稿は規定ページ数以内である．(基本)

□ 「投稿論文原稿テンプレート」に沿ったスタイル指定がなされている．(基本)

□ 全共著者が投稿と内容を納得している．共著者それぞれの寄与が明確である．(基本)

□ 原著者や著作権者の許可を得ていない図･表･写真などを転載していない．（基本）

□ 著者による原著で，一般に公表されている刊行物に未投稿である．(基本)

□ 倫理的考慮として，人および動物が対象である研究は，倫理的に配慮され，その旨が本文中に明記されている．(基本)

□ 著者は，自らの職務において，雇用者や依頼者との利益相反を生むことを回避し，利益相反がある場合には，説明責任と公明性を重視して，雇用者や依頼者に対し利益相反についての情報をすべて開示されている．(基本)

□ 研究，技術開発またはその提案に関して，新しさのある事柄をまとめたものである．(価値)

□ 価値の主張が十分汲み取れるように書いてある．(価値)

□ 読者に役に立つような一般性，客観性または普遍性のある内容である．(価値)

□ 所定の「投稿表紙」に必要な事項を漏れなく記載している．（投稿様式）

□ 「投稿表紙」中に新規性および有用性を記載している．（投稿様式）

□ A4 用紙を用いている．(投稿様式)

□ 文章は1段組で打ち，段落ごとに文頭1字空けている．(投稿様式)

□ 余白は，上下各33mm，左右各22mm空けている．(投稿様式)

□ 和文表題，英文表題，氏名，和文概要，和文キーワード，英文概要，英文キーワードまでを1頁以内に記載している．（投稿様式）

□ 原稿にページが入っており，全ページが揃っている．（投稿様式）

□ 写真，図，表とその題名一覧をつけている．(投稿様式)

□ 論題は内容や特徴を短く（40 文字以内）表現した．その文字数を超える場合には副題を付ける．(論題)

□ 和文表題は意味･内容をよく表現している．（論題）

□ 和文概要に研究対象とその範囲，方法，新知見，結論などを明記している．（概要）

□ 和文概要は適切な語数（350 語程度）になっている．（概要）

□ キーワード（5語）を付けている．（キーワード）

□ キーワードに「SDGs」が含まれているか．（キーワード）

□ 英文表題は和文表題の意味･内容をよく表現している．（論題）

□ 英文概要に研究対象とその範囲，方法，新知見，結論などを明記している．（概要）

□ 英文概要は適切な語数（150 語程度）になっている．（概要）

□ 英語のキーワード（5語）を付けている．（キーワード）

□ 英語のキーワードに「SDGs」が含まれているか．（キーワード）

□ 英文抄録はネイティブチェックを受けている．（概要）

□ 論文ファイルには，論文本文，引用文献（必要に応じて），注記（必要に応じて），著者連絡先（郵便番号，住所，所属，氏名，E-mail アドレス）が記載されている．(査読原稿体裁)

□ 対象とその範囲，手段や方法，新しい事実・現象，結論などが書かれている．(査読原稿体裁)

□ 章の見出しは２行分とり，天地・左右とも中央に書いている．(査読原稿体裁)

□ 新しい節に移るとき，空白行をおかず，改行して直ちに節見出しを書いている．(査読原稿体裁)

□ 句読点は和文（全角），英文（半角）を問わず，「，」「．」をしようしている．(査読原稿体裁)

【和文対象】

□ 和文の題目(数字を含む)は，MSゴシック太字，18ポイント，中央揃えとしている．英文は，Times New Roman 太字，14 ポイント，中央揃えとしている．（査読原稿体裁）

□ 和文の執筆者名(数字を含む)は，MS明朝太字，14ポイント，中央揃えとしている．英文は，Times New Roman 斜体太字，14 ポイント，中央揃えとしている．但し，共同執筆者が複数の場合は，2 行程度に収まる文字サイズに変更可能とする．（査読原稿体裁）

□ 和文の抄録，キーワード（論文等）(数字を含む)の和文はMS 明朝，10.5 ポイント，英数半角は，Times New Roman，12 ポイント，両端揃え，左右各４字のインデントとしている．（査読原稿体裁）

□ 和文の本文(数字を含む)は，MS 明朝，10.5 ポイント，両端揃えで書いている．英数半角は，Times New Roman，10.5 ポイント，両端揃えで書いている．1頁当たり46 字 × 42 行で書いている．（査読原稿体裁）

□ 和文の本文の見出し(数字を含む)は，MS ゴシック，太文字，11 ポイント，左寄せで書いている．（査読原稿体裁）

□ 和文の図表の番号・表題・説明(数字を含む)は，MS ゴシック，太文字，10.5 ポイント，中央揃えで書いている．英数半角は，Arial，10.5 ポイント，両端揃えで書いている．（査読原稿体裁）

□ 和文の著者紹介(数字を含む)は，MS 明朝，太文字，10.5 ポイント，左寄せで書いている．（査読原稿体裁）

【英文対象】

□ 英文の題目(数字を含む)は，Times New Roman 太字，18 ポイント，中央揃えとしている．英文は，Century 太字，14 ポイント，中央揃えとしている．（査読原稿体裁）

□ 英文の執筆者名(数字を含む)は，Times New Roman 斜体太字，14 ポイント，中央揃えとしている．但し，共同執筆者が複数の場合は，2 行程度に収まる文字サイズに変更可能とする．（査読原稿体裁）

□ 英文の抄録，キーワード（論文等）(数字を含む)の英文は，Times New Roman，12 ポイント，両端揃え，左右各４字のインデントとしている．（査読原稿体裁）

□ 英文の本文(数字を含む)は，Times New Roman，12 ポイント，両端揃えで書いている．1頁当たり40行で書いている．（査読原稿体裁）

□ 英文の本文の見出し(数字を含む)は，Times New Roman，太文字，12 ポイント，左寄せで書いている．（査読原稿体裁）

□ 英文の図表の番号・表題・説明(数字を含む)は，Times New Roman，太文字，12 ポイント，中央揃えで書いている．（査読原稿体裁）

□ 英文の著者紹介(数字を含む)は，Times New Roman，太文字，12 ポイント，左寄せで書いている．（査読原稿体裁）

□ 長すぎる文（4 行程度以上）はない．（執筆）

□ 適切に段落を設定した．（執筆）

□ 誤字，脱字，記号の誤記および単位（SI）の不統一などはない．(執筆)

□ 写真，図，表，式，文献の番号に間違いはない．(執筆)

□ 本文の余白に写真，図，表の該当位置（割付位置）を示してある．（執筆）

□ 読者が理解できないおそれのある専門用語には，補足説明を加えている．(執筆)

□ 使用記号の一覧表を付けるべきか検討し，必要な場合は付けている．（記号一覧）

□ 本文中に参照順に通し番号で 1)，2)，･･････ の形式で引用している．(文献)

□ 正しい記載形式，略記法になっているかを確認した．略記が不明なときは略記しない．(文献)

□ 未公開あるいは投稿中のものを引用していない．（文献）

□ 図や写真や表を添付する意味を確認し，削除，追加，合成を行って必要最小限のものを精選している．(引用意味)

□ 図や写真や表の内容に関する説明が本文中にある．（引用意味）

□ 引用番号とキャプションは図や写真の場合は下に，表の場合は上に付けている．(表現工夫)

□ 図や写真や表の内容が分かりやすいように，工夫している．（表現工夫）

□ 写真と図（線，文字，記号など）は，縮尺印刷（原則 1/2）しても鮮明であると判断している．(縮尺)

□ 単位は SI で統一している．（使用単位）

□ 顕微鏡写真などには撮影倍率または基準寸法を記入している．（写真）

以上